

# ～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

## 子供たちと一緒に (悦)

8月は、子供たちは夏休み。お子さん、お孫さんがいらっしゃる方は、一人では家を出難い。それじゃあ、連れていらっしゃい。家族連れの参加 OK にしました。

参加されたお孫さんに綱と籠を渡したら、大喜びで蝶を追いかけていました。もちろん、チビちゃんに捕まる蝶はなかなか。でも、いろんな虫が観察できました。



観察会の風景

採取昆虫は観察した後、放しました。

## 観察会の楽しみ (吉)

蝶の卵を探したり幼虫やサナギを探したり、飛んでいる蝶を見るだけでなく一生を観察するのも毎月の観察会の楽しみです。植物もこれから秋に向かって実をつけたり紅葉したり新しい発見が楽しみです。

## 眺めよい森 (ふ)

頂上見晴台からの富士山:  
「ほらっ、あそこに富士の頂上が見えるよ。」

「えっ、あんなに高かったっけ？」雲海の上に微かに伺い見えた頂きを前に、真偽を争う富士山談義。

“あ～たまを雲の

う～えにい出し、富士はにっぽんの山”ですよ。

八ヶ岳ビューポイントからの八ヶ岳:  
中央コースのビューポイント、邪魔していた枝木が伐採され、雄大な眺めが復活しました。春先には絶好の山菜採りポイントも兼ねるとか…。穴場になっていたK子さん、ばらしてゴメン！劣をお取り下さった方々に感謝。



e

## 色々たくさん!! (そ) 写真も

もしかしたら午後から雨かも…の予報を吹き飛ばして、素晴らしい天気になりました。

○楽しみにしていたスミナガシの飛び姿に逢えなかったのはとても残念でした。いつか逢えることを信じてます。でも、たった1ミリ位の卵が生きついているのを確認した時、この広い森の中でガンバレ！と思いました。

○オオシオカラトンボ、素晴らしい色と画体ですね！藍色が何とも！

そして、昔、祖母が「トンボの背中には神様がいるんだよ」と言っていたのを思い出しました。確かに、大きなトンボには大きな神様でした。

○ナンバンハコベ、初めてお目にかかりました。静かに咲いるけど、何とも可愛くてユニークな花ですね。どうしてこんな風に花びらを曲げているのでしょうか。ヌスビトハギは、こんなに可憐なのに、どうしてこの名前？



## 幼虫さがし (K.K)

今年は湿気が多いせいか、キノコの類が多く見られました。サンコダケという面白いキノコ。まるで、人の指3本をうまくくっつけたような、オレンジ色の奇妙な形。さらには、小人が宴会をした後か、と思うような、黒っぽい小さいグラスをたくさんごちゃごちゃと置いたようなキノコの群れ。

また、(そ)さんが、トンボの背中には神様がいる、とおばあちゃんに言われた、というのでよく見たら、確かに、そんな様に見える！昔の人は、こんな風に、益虫を大事にしてきたんだと感心。

せっかく、きれいな緑色に光る虫を捕まえたら、ただのアオカナブンだと言われちょっとがっかり。



アオカナブン

## 出会った昆虫 (馬)

- エゾゼミ ●ミンミンゼミ♀
- オオシオカラトンボ♂♀
- シオカラトンボ♂ ●オニヤンマ
- アキアカネの仲間
- キタキチョウ ●モンキチョウ♂♀
- イチモンジチョウ●ヒョウモンの仲間
- クロヒカゲ ●ジャノメチョウ♀
- コムラサキ●スミナガシ卵・若齢幼虫
- ミヤマカラスアゲハ
- キマワリ ●アオカナブン
- カナブン

## 感激 (秋) 写真e

スミナガシの成虫との出会いを期待しましたが残念。代わりにアワブキの葉裏に次世代の卵を見つけ、生命の営みの機微に感動致しました。



## ゆっくり・しっかり観察 (su)

夏休み中なので、小さいお客様と中学生のお客様が特別参加。

暑さ対策もあっていつもよりも短いコースでしたが、ゆっくり・のんびり歩いてしっかり観察できました。

アカスジキンカメムシが子供から大人まで、大家族で1枚の葉っぱに勢ぞろいしていたのには、びっくり！

リオオリンピックの表彰式で渡される記念品(?)が落ちていると思ったら、なんと、サンコダケというキノコだった！

スミナガシの卵を見ることができて、感動！

緑色に輝く美しい虫は玉虫ではなくアオカナブンなんだって！

黄色のキンミズヒキと赤いミズヒキは、親戚じゃないのね！

等々、市民の森はお宝満載！！

暑さを忘れて楽しい観察会でした。

e



「市民の森 里山の風景」④ (矢)写真も

せせらぎのある風景:  
夏の日差しを逃れ森へ足を踏み入ると、なんと涼しくほっとすることが。木陰を渡る風音、小川のせせらぎが更なる心地よさを演出。この小さなせせらぎにも昨年、30cm 級のアマゴの生息を確認。



クモの母性愛? (矢)写真も

この時期、卵のうを抱きかかえるクモの姿をよく見かける。なかには、子が生まれると、自分の体を食料として与える種もいるとか。



アズマキシダグモ



ギボシヒメグモ

サンコタケ (小原恵)写真も

サンコタケに感動?が今日のトップの感想です。

その姿!にびっくり!!



そのにおいにまたびっくり!!!  
きのこたちが森の掃除屋さんとして頑張っているとまさに実感しました。  
でも、もうにおいをかぎたくありません。  
(何と自己中な私)

知れば知るほど (望)

今回も沢山の収穫がありました。

- その中でクマヤナギの花と2年越しの実の同時景観、ヌルデの見事な花序、それにオシオカラトンボやオニヤンマ、ミンミンゼミの特徴をしっかりと捉えることが出来て満足。
- トモエソウとオトギリソウの区別がなかなかです。
- さらに、コナシの枝を焼酎につけるといい香りがするという情報をK.Kさんからいただいたので酒好きの私としては一度試してみたいですね。

お盆の最中の観察会でしたが天候に恵まれ楽しく学習することが出来ました。感謝。

ミヤマウズラ



e

コマツナギ



e



e

アカスジギンカメムシの幼虫

ヤマハギ



e

夏 (8月)

東コース  
池⇨横河口  
→20分 ←25分

せせらぎコース  
南コースとの分岐⇨横河口  
→35分 ←40分  
ほぼ平坦

中央コース 1.5Km  
山頂広場⇨池  
→25分 ←35分  
(標高差137m)

頂上コース 1.3Km  
駐車場⇨山頂広場  
→60分 ←45分  
(標高差130m)

南コース 1.8Km  
駐車場⇨池  
→40分 ←50分  
ほぼ平坦



e

コバギボウシ

ゲンノショウコウ



e

ダイコンソウ



e

オニヤンマ



e

8月に開花していた花たち (悦)

- イヌゴマ
- ダイコンソウ→90
- セイヨウウツボグサ→90
- ヌルデ→134
- オトコエシ→102
- コマツナギ
- ヌスビトハギ→107
- タマアジサイ→101
- クサギ→100
- リョウブ→97
- ミヤマウズラ
- ヤマハギ
- クズ

その他いろいろ



e

タマアジサイ

ミズヒキ・キンミズヒキ (克)

暑い日でしたが、涼しい沢沿いの小径の木陰で、のんびりと観察も夏の楽しい過ごし方かな。見過ごしてしまいそうな、足下のかわいい花たちを発見できました。ゲンノショウコウ、キンミズヒキ、ミズヒキ、コバギボウシ、どの花もかわいい花たちでした。

ミズヒキはタデ科なのに、キンミズヒキはバラ科、似た様な花なのにな。



ミズヒキ

キンミズヒキ

これがスミナガシの蛹 (悦)



e

8.2 子供たちの森の体験のイベント終了後、スタッフで蛹探しに行きました。これが、スミナガシの蛹です!!